

2 0 2 4 年 度 事 業 報 告

特定非営利活動法人

町田市学童保育クラブの会

I. 法 人 事 業

1. 組織運営

1) 理事会

	日 程	内 容
第82回	4月6日	運営管理規程 一部改正 定款細則 一部改正、その他規程 一部改正 指定管理者募集の応募について
第83回	5月26日	2024年度 事業経過報告、2024年度 事業計画一部変更、2023年度事業報告2023年度 決算、指定管理者の応募について、定期総会の召集
第84回	12月8日	2024年度 事業経過報告、2024年度 上期苦情解決委員会報告、就業規則 一部改正、給与規程 一部改正、育休・介護休業規程 非常勤就業規則 一部改正 2024年度 第一次補正予算、内部経理監査、業務継続計画、クラブ外保育マニュアル 一部改正
第85回	3月23日	2024年度 事業経過報告、育児・介護休業規程 一部改正、次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画、衛生管理マニュアル 一部改訂 2024年度 第二次補正予算、2025年度 事業計画、2025年度 当初予算

2) 事務局

(1) 事務局は理事会の日常業務の執行機関であり、組織運営に関する業務を行う。

- ①4 月～6 月：事業報告書および決算書を作成し、関係諸機関へ提出、指定管理選定書類作成
- ②6 月：定期総会を開催、町田市の管理運営状況評価（モニタリング）を作成。
- ③理事会の議案を作成し、運営
- ④特別保育の利用料徴収業務
- ⑤関係諸機関・団体との連携
- ⑥クラブの職員体制の調整

(2) 事務局会議を開催し、法人組織の機関会議として様々な課題の検討を行った。

日程	内 容
4月	クラブ報告、指定管理選定、運営委員会 議題確認
5月	クラブ報告、理事会議案確認、職員配置
6月	クラブ報告、施設長会議報告、内部監査、求人採用費用、ロケットキッズ（春企画）
8月	クラブ報告、36協定、現金の取り扱い、利用者アンケート、ぷちくれよんひろば公式LINE、保護者と職員の学習会

日程	内 容
9月	クラブ報告、8月 台風の対応について、メンタルヘルスチェック報告、メンター制度、おやつ賞味期限確認アプリ、職員配置、労務関連申請書電子化、特別休暇
10月	クラブ報告、超過勤務分析、利用者アンケート回収率、施設長会議報告、特別休暇、ぷちくれよんひろば公式LINE、業務継続計画、事業計画・報告フォーム
11月①	クラブ報告、利用者アンケート回収率、業務継続計画、内部会計監査チェックシート、ロケットキッズ、事業計画フォーム
11月②	クラブ報告、夏休み期間中の給食提供の試行実施、超過勤務分析、2025年度入会申請数、町田市就職フェア、会計経理、労働条件モニタリング、利用者アンケート結果
1月	クラブ報告、定数協議、2023年度モニタリング結果、利用者アンケート回答、2月 運営委員会議題確認、中期計画 2024年度到達点
2月	クラブ報告、超過勤務分析、メンタルヘルスセルフチェック、2025年度 事業計画（案）、一般事業主行動計画、
3月	クラブ報告、東京都認証学童クラブ、育児休暇制度、常勤2名配置加算、3月理事会議案確認、2025年度 事業計画（案）

3) 各種委員会

(1) 運営委員会

運営委員会は、①組織・事業全般に関し、理事と施設責任者で業務執行状況の確認および調整、②組織内の重要事項の確認、伝達等、③第6期中期計画の振り返り等の検討を行った。

日程	内 容
4月	クラブ報告、ロケットキッズ、2023年度メンタルヘルスセルフチェック結果、職員選考フローの見直し
7月	PJ/担当報告、親善ソフトボール、ロケットキッズ
9月	PJ/担当報告・親善ソフトボール、緊急時連絡体制、36協定
2月	施設長会議報告、PJ/担当総括・企画、中期計画、利用者アンケート分析

(2) 調査研究委員会

2024年度、活動はなかった。

(3) 人事委員会

人事委員会は、正規職員の採用および配置、昇級試験を中心とした活動を行った。また、組織として職員の人事に関する情報を把握することに努めた。

日程	内 容
5月	2024年度 正規職員選考(欠員)
6月	2024年度 正規職員選考(欠員)、2025年度 正規職員選考、昇級試験について
7月	2025年度 正規職員選考、昇級試験について
8月	2024年度 正規・非正規職員選考(欠員)
9月	2024年度 正規職員選考(欠員)
10月	2024年度 正規職員選考(欠員)、2025年度 正規職員選考
12月	昇級試験
1月	2025年度 正規職員選考(事務員)
2月	2025年度 非正規職員選考、2025年度 職員配置
3月	2025年度 正規職員選考(事務員)

(4) 苦情解決委員会

苦情解決制度に基づき、苦情解決委員会を6月と11月に開催し、第三者委員に報告した。

5) 職員の諸会議

(1) 正規職員全体会

職員教育および情報共有を目的に年3回実施し、施設責任者が運営を担当した。

(2) プロジェクト等、課題別の会議

① ぷちくれよんひろば

年10回会議を開催し、地域の乳幼児とその保護者の「孤立した子育て」をなくすため、親子で安心して過ごせる居場所づくりとなるよう計画した。開催情報等を必要な家庭に直接届けるために町田子育て相談センターと連携し、マイ保育園登録訪問の際にチラシ配布を依頼した。多くの利用者の声を集めるため、利用者アンケートを企画アンケートや利用者カードに盛り込む検討を行った。他団体が実施している子育てひろばの見学を行い、参考にしながら開催方法や内容の充実を図った。

② ロケットキッズ

年12回会議を開催し、6月16日(日)のこどもの国でのピザ作り、12月7日(土)8日(日)の Nature Factory 東京町田での宿泊行事に向けて準備を行った。今年度から6月の企画で子ども会議を実施し、その決まった内容を12月の宿泊行事に取り入れられるよう検討を行った。また申し込みの際に Google フォームを活用、参加費の徴収方法を振り込みにするなど、申し込みに関する手続き方法について整備した。

③ 広報紙「くれよん」

年11回プロジェクトを実施し、173～178号の記事作成・発行と、現状の課題を確認した。また、9月発行日変更の検討や印刷会社の変更の検討を行い、記事の充実を図るため発行日を15日から25日発行に変更し、2025年度から印刷会社を変更することとした。他機関の広報紙も参考にしながら

今後もより良い情報発信ができるよう発行していく。

④保護者と職員の学習会

年 8 回の会議を行い、学童保育クラブを利用する保護者と職員が共に学び考える場として、「思春期と向き合う」をテーマとして、参加対象を子育てに関わる全ての人に拡大した。はじめて南地区で開催し、12 月 21 日に小川小学校のプレイルームにて対面とオンラインを併用し開催した。また、そよかぜ学童保育クラブをオンラインでつなぎサテライト会場とした。

2. 人材確保

1) 人材確保

(1) 大学訪問

2025 年度の正規募集を 6 月から行い内定者が早々に決まったため、直接の大学訪問は行わなかった。玉川大学の教員へ求人の情報を案内した。昨年度に引き続き、多くの大学が活用しているアルバイト求人サイトを活用し夏休みアルバイトを募集した。

(2) クラブ見学の受け入れ

ホームページの求人コーナーでクラブ見学が可能なことを掲載したが、求職者より依頼はなかった。

(3) インターンシップの受け入れ

玉川大学から依頼を受け、大学の春・秋学期に受け入れを行った。学童保育だけでなく、ロケットキッズプロジェクトの企画に学生が参加し、学生によるプログラムを設けた。

	春学期	秋学期
大蔵	2人	
金井	1人	1人
高ヶ坂けやき	1人	
南大谷	1人	1人

(4) 就職説明会

1 月に町田市主催の「まちだの学童保育の就職フェア」（就職説明会）が初めて開催され参加したが、応募にはつながらなかった。就職フェアにむけ、町田市ハローワーク主催の介護・福祉相談説明会の見学を行った。

(5) 法人ホームページの活用

ホームページを見ての問い合わせが複数あった。職員募集のページが求人者にわかりづらかったため、レイアウトの変更を行った。玉川大学よりインターンシップ生の受け入れを行ったが、ホームページの掲載には至らなかった。

(6) えるぼし認定企業（3 段階目）の認定

2023 年度、「えるぼし認定企業（2 段階目）」の認定を取得していたが、達成できていなかった「継続就業」について、2024 年度は基準を満たしていることが確認できたため、8 月に 3 段階目の申請を行った。東京都労働局からのヒアリングを受けた後、2024 年 11 月 29 日付で「えるぼし認定企業（3 段階目）」の認定を取得した。今後も「女性の活躍推進企業データベース」への公表を毎年行いながら、プラチナえるぼし認定の取得を目指す。

(7) 該当する退職者にはジョブリターン制度の説明を行った。

(8) 求人活動をサポートする会社に求人活動の一部委託した。委託会社からのヒアリングを受け、求人票の記載内容の充実、ホームページの職員募集ページに求人サイトへのリンクを掲載し、そこから応募ができるようにした。応募者は前年度に比べ増加した。また、求人者との調整を委託会社がおこなうことで、採用活動にかかわる業務の削減となった。

3. 人的安定性

1) 人的安定性

(1) 職員のフォローアップ

振り返りシートを活用し、定期的に施設責任者が職員面談を行った。定期点検の際に担当マネージャーが職員面談（新規採用者、異動者）を行った。休職した職員が復職した際には、復職プログラムを立て定期的に面談を行った。

(2) メンタルヘルス外部相談窓口として、東京メンタルヘルス株式会社が行っている「メンタルヘルスサポートネット」を利用した。また、年 2 回のセルフチェックを実施した。また、新規採用職員はセルフケア講習、および管理者はラインケア講習を受講した。

(3) 給与水準の検討

職員の雇用の安定と、一定の生活水準確保のため、社会の状況や水準を踏まえ給与ベースアップと該当者には特別賞与を支給した。

2) 人財育成

人財育成方針に沿った研修計画を基に常勤研修、職場内教育を実施した。

法人内階層別研修の常勤研修の一部は録画し、体調不良等で参加できなかった職員は後日、視聴できるようにした。町田市資質向上研修に、非常勤職員は年 3 回参加した。東京都社会福祉協議会の講師派遣制度を活用し、全職員で「子ども主体の保育とは何か」を学んだ。

新規採用者を中心に「放課後児童支援員認定資格研修」、5 年以上の常勤職員は「東京都放課後児童支援員資質向上研修」を受講した。

人事考課に基づくフィードバック面接を年に 2 回実施し、目標の到達点と課題などの確認を行った。

3) 研修

1. 全国学童保育連絡協議会主催

日 時	研修名	場 所
6月2日	全国指導員学校	オンライン
11月16日17日	全国学童保育研究集会	倉敷市民会館/ 川崎医療福祉大学

2. 東京都主催 東京都放課後児童支援員認定資格研修

日 時	テーマ	場 所
2月7日・13日	職場倫理・障がい児理解・ 保護者、学校との連携	LEC水道橋校 板橋区文化会館

3. 東京都主催

日 時	テーマ	場 所
12月20日	ぜん息・食物アレルギー緊急時対応	バルサル秋葉原
2月15日	医療ケア児等支援者育成研修	オンライン

4. 東京都社会福祉協議会主催

日 時	テーマ	場 所	参加人数
5月21・22日	チームリーダー研修	オンライン	1人
7月18・19日	OJT・仕事の教え方	オンライン	2人
WEB配信	福祉職のためのメンタルヘルス	オンライン	8人
11月28日	コーチング	オンライン	1人
12月6日	コーチング	オンライン	1人
12月10・11日	キャリアパス研修	オンライン	2人
2月18・19日	リーダーシップ研修	オンライン	3人

5. 町田市子ども生活部児童青少年課主催

日 時	テーマ	場 所	参加人数
6月14日	他者とのコミュニケーション	オンライン	51人
7月2日	職員のメンタルヘルスケア	オンライン	常勤 55人 非常勤 54人
9月20日	子どもの権利を守るとは	オンライン	常勤 54人 非常勤 59人
10月10日	学年の心の発達を理解と育成支	オンライン	46人
11月15日	子どもの世界に触れる、 遊びを通じた成長支援	オンライン	46人
12月10日	子どもの応急手当と事故防止	オンライン	常勤 47人 非常勤 52人
1月21日	発達特性のある子の友人関係 の構築と育成支援	オンライン	46人
2月20日	新型コロナウイルス感染症が 及ぼした子どもへの影響	オンライン	47人

6. 町田市子ども生活部子育て推進課主催（地域合同研修）

日 時	テーマ	場 所	参加人数
7月3日	相談援助の基本	オンライン	1人

7. 町田市社会福祉協議会主催

日 時	テーマ	場 所	参加人数
11月5日・8日	発達障害の基本的な理解と対応	健康福祉会館	11人

8. 町田市主催

日 時	テーマ	場 所	参加人数
10月4日	学童保育クラブ支援員のため の絵本の読み聞かせ講座	中央図書館	16人

9. 階層別研修（法人）

（1）初任者研修

日 時	テーマ	場 所	参加人数
6月	記録の取り方①	オンデマンド	6人
7月5日	苦情解決①	図師クラブ	6人
2月27日	保護者との関わり	オンライン	7人

（2）中堅者研修

日 時	テーマ	場 所	参加人数
6月18日	苦情解決②	図師クラブ	4人
6月18日	人事考課②	どろん子クラブ	4人
7月5日	保護者会支援①	そよかぜクラブ	4人
7月17日	OJT担当者研修①	オンライン	2人
7月19日	子育て支援	どろん子クラブ	2人
9月10日	実践検討	高ヶ坂けやきクラブ	6人
10月30日	実践検討	高ヶ坂けやき	4人
2月5日	実践検討	高ヶ坂けやき	6人
2月28日	福祉サービスの組織性	オンデマンド	1人
3月4日	実践検討	高ヶ坂けやき	5人

（3）管理者研修

日 時	テーマ	場 所	参加人数
9月30日	人事考課	そよかぜクラブ	16人
1月～2月	責任者交換研修	各クラブ	13人

（4）実技研修

日 時	テーマ	場 所	参加人数
10月10日	野外活動	そよかぜ	7人
11月20日	野外活動	NatureFactory 東京町田	6人
11月29日	伝承あそび	高ヶ坂けやき	4人
12月17日	野外活動	そよかぜ	6人

(5) 実全職員研修

日 時	テーマ	場 所	参加人数
11月20日	学童保育クラブの職員のため の子どもとの適切な関わり方	オンライン	43人
12月21日	保護者と支援員の学習会 「思春期と向き合う」	オンライン	13人
1月29日	子ども主体の保育とは何か	オンライン	51人

(6) 全職員研修

12月～2月	情報セキュリティ対策	各クラブ・事務局	常勤 52人 非常勤 83人
--------	------------	----------	-------------------

(7) 職場内教育

月	内 容	内 容
4	リスクマネジメント・食品の取り扱い	安全管理・危機管理
5	個人情報の取り扱い	苦情解決
6	保育理念文書	アレルギー対応

10. 資格取得

講習名	参加人数
放課後児童支援員	常勤 8人 非常勤 4人
普通救命救急講習	常勤 32人 非常勤 41人
安全衛生推進者	4人

11. 事務局研修

日 時	テーマ	場 所	参加人数
5月24日	公共営業実践講座	オンライン	1人
6月13日	算定基礎届事務講習会	町田市民フォーラム	1人
6月21日	算定基礎	オンライン	1人
6月28日	社会福祉法人会計初級編	仏教伝道センタービル	1人
7月23日	メンター制度について	オンライン	1人

4. 啓発活動

1) ニュース発行他

(1) 広報紙「くれよん」

広報紙「くれよん」を年間計画に基づいて、年 6 回、1,330 部発行した。法人主催で行った「思春期と向き合う」（保護者と職員の学習会）の報告や、法人 13 クラブの合同行事、町田市立中学校職場体験の様子、保育所に従事している栄養士に記事依頼を行い、「朝ごはんの重要性」などを掲載した。

(2) 「ぷちくれよんだより」 季刊発行・公式 LINE

ぷちくれよんひろば利用者と学童保育クラブ在籍家庭へ子育てに関する情報提供を目的に、「ぷちくれよんだより」を学期ごとに年 3 回発行した。企画時に親子で工作を楽しむ様子や出来上がった作品を載せるとともに、季節に合わせて「熱中症予防対策」、「乳幼児の防災対策」など子育てに役立つ情報、利用者アンケート結果を掲載した。公式 LINE やホームページの案内を掲載し、利用者登録を呼びかけた。公式 LINE は 10 月より導入し、毎月の企画内容や開放日を利用者へ情報を配信した。

2) ホームページの充実

- (1) 法人事業のページにぷちくれよんひろばの実施予定、ぷちくれだよりの掲載を行った。また、ロケットキッズのページを作成し、6 月と 12 月の報告集を掲載した。
- (2) お知らせページの「学童クラブ」「イベント情報」の活用はできていない。
- (3) ボランティア受入の窓口として、ホームページに各クラブの募集状況を掲載することを計画していたが、クラブからの情報収集ができなかったため、掲載に至らなかった。

3) その他

- (1) 例年、10 月以降に実施される就学時健診にむけて案内チラシを配布していたが、次年度の入会申請時期が早まったため配布は行わなかった。
- (2) 学童保育月刊誌「日本の学童ほいく」の普及
日本唯一の学童保育に関する専門雑誌であり、2024 年度は 44 部の購読申し込みがあったが、支援員のための購読に留まっている。ブロック会議やクラブの支援員会議で月刊誌を活用し支援員教育の充実を図った。今後も懇談会等を活用し月刊誌の普及活動を行っていく。

5. 子育て支援事業

1) 緊急一時保護

町田市の依頼を受け行った。

2) 通所支援事業

「町田市学童保育クラブ通所支援に関するガイドライン」に基づき、町田の丘学園に在籍する児童の通学バス停までのお迎え事業を行った。

3) ぷちくれよんひろば事業

5 か所の学童保育クラブ（どろん子、そよかぜ、南大谷、なかよし、大蔵）で開催した。昨年度まで金井学童保育クラブで開催をしていたが、近隣保育園で子育てひろばを開催しており、今後も利用率の増加が望めないことから大蔵クラブでの開催に変更した。大蔵学童保育クラブの利用率は低い、後期には LINE 登録をする方や利用者もいたため、近隣への広報活動に力を入れていく。

予約制度や人数制限、インフルエンザ等の感染症流行時の開催中止判断の見直しを行い、継続してぷちくれよんひろばの利用ができるよう配慮した。11 月には屋外開催の企画「秋を探しに」を企画していたが、雨天が予想されたため開催日前日に室内開催に変更した。

利用者アンケートを企画時にとるように変更した。「保護者も交流できてよかった」や「アットホームで安心して遊べる」等の意見があった。また、利用傾向や利用者の求める玩具等の意見を幅広く集めることができた。そよかぜ学童保育クラブについては、2024 年度をもって開催を終了し、2025 年度からは高ヶ坂けやき学童保育クラブで開催をするため、3 学期は利用者や関係諸団体に開催場所変更のお知らせを随時行った。

	登録 世帯数	年間延べ利用数	
		保護者	乳幼児
大蔵	2	3	3
そよかぜ	6	43	45
なかよし	5	17	18
どろん子	7	10	11
南大谷	4	9	13

4) にじいろキッズ事業

空き待ち児童がでなかったため、実施しなかった。

5) ロケットキッズ

6 月 16 日にこどもの国でデイキャンプと 12 月 7・8 日に Nature Factory 東京町田にて 1 泊 2 日の宿泊行事を行った。

6 月は生地からのピザ作り、12 月の宿泊行事でやりたいことを話し合う子ども会議を行った。話し合った内容は 12 月の宿泊行事で取り入れ、班ごとにウォークラリーや飯盒炊爨、カレー作り、夜のおたのしみ企画など行い、クラブを越えて交流することで、初の宿泊行事を楽しんだ。6 月は玉川大学からインターン生 5 名、12 月はインターン生 2 名とボランティア 3 名（保護者 OB、卒会生）の受け入れを行った。

	大蔵	金井	高ヶ坂 けやき	そよかぜ	つくし野	どろん子	なかよし	南大谷	わんぱく	合計
6月	1人	3人	5人		4人	1人	2人	1人	2人	19人
12月			4人	1人	4人		1人		1人	11人

6. 保護者会活動への支援

1) 保護者会との懇談会の充実

各クラブ保護者会の相互の交流を図るとともに、法人との情報交換および連携を図るため懇談会を年 4 回開催した。開催方法は対面を基本とし、学校行事等の状況を見ながらオンラインも併用した。懇談会前に各保護者会が疑問に思っていること、他の保護者会に聞きたいことなどのテーマを募った。対面開催時にグループに分かれて懇談を実施したことで、より詳しく話を聞くことができた」と好評であった。より交流を深められるよう懇談会後、アンケートを取りいただいた意見を活かして交流内容を検討する。

月	内容
6月	事業報告・保護者会活動の取り組み
9月	1学期の保護者会活動、保護者会オープンチャット
11月	保護者会の開催や交流行事の回数・内容、進級式等の記念品
2月	事業経過報告、学童クラブ統合、今年度の保護者会活動、入会説明会での保護者会紹介、保護者会発行のおたより

2) 保護者と共に学び考える場を

保護者と職員の学習会では「思春期と向き合う」をテーマとして参加対象を子育てに関わる全ての人に拡大し、はじめて南地区で開催した。12月21日に小川小学校のプレイルームにて対面とオンラインを併用し、学童保育クラブをオンラインでつなぎサテライト会場とした。2025年も参加者のアンケートをもとに、子育て支援につなげられる学習会を町田駅前地区での開催を予定している。

3) 親善ソフトボール

相原中央グラウンドにて、9月22日に保護者と職員有志の交流ソフトボールを実施予定だったが、雨天中止となった。より多くの方が交流できるように、ソフトボールに限らない交流内容を次年度は検討していく。

7. 関係団体・機関との連携

1) 行政との連携

- (1) 事務局が窓口となり、児童青少年課と日常的な情報交換を行う。また、児童青少年課主催の施設長会議に出席した。
- (2) 東京都子供・子育て会議委員を依頼され、職員を派遣した。

2) 学童保育に関する団体との連携

- (1) 町田市学童保育クラブ父母会連絡協議会（父母連協）と町田市学童保育を考える会（考える会）と学童保育に関する課題が生じた際、連携を図っているが2024年度は父母連協からの依頼のチラシの配布のみにとどまった。
- (2) 町田市学童保育運営者協議会に参加し、市内で学童保育クラブを運営する法人と夏休みの人材確保や昼食提供、登降所システム、緊急時の連絡体制、学校統合等、7月、10月、2月に情報交換を行った。
- (3) 町田市社会福祉協議会の主催する児童の絵画展の選考委員を依頼され、事務局が協力を行った。必要に応じて学童保育事業担当者と情報交換を行った。

3) 子どもに関する事業を行う団体・法人との連携

冒険あそび場「せりぼう」とは広報紙のやりとりのみだった。保護者と職員の学習会のチラシ配布の依頼をした。

8. 苦情解決

法人苦情解決制度に基づき設置された、苦情解決委員会を年に2回開催した。保護者および地域から寄せられたご意見と対応について委員に報告を行い、苦情の件数は下記の通りであった。23件中、支援員の対応に関する苦情の件数が18件あり、上半期13件、下半期5件と下半期に大幅に減った。内容としては、支援員の対応が不十分であったもの、支援員の確認や報告ができていなかったものが主であった。また、駐車や車の通行に関する内容も複数件あった。ケガやトラブルの対応、聞き取りや職員間の共有を丁寧に速やかに行い、保護者に伝える際は、内容を把握した上で正しく行っていく。駐車や交通に関しては、引き続きクラブ通信や貼り紙等で呼びかけを行っていく。報告内容については、各クラブの支援員会議で情報共有を行い、再発防止に努める。また、町田市に報告書を提出した。

苦情内容	2023年度	2024年度
職員の対応	19	18
近隣	2	2
その他	0	3
合計	21	23

9. 学童保育の充実にむけた取組

1) 施設の狭あい化

児童数の増加により狭あい化している施設の課題を解消するために、定数協議の際に町田市と協議した。特にどろん子クラブは学校の教室（2教室）を借用し、3か所に分かれて保育しているため、単独施設の増築を要望した。

2) 学童保育クラブの統合

①小学校の統合における学童保育クラブの統合についての対応を、運営委員会や理事会で検討を行った。

②成瀬学童保育クラブの開所に向けて、統合されるそよかぜ学童保育クラブとなんなる学童保育クラブ間で引継ぎを行った。

保育内容や児童についての引継ぎを両学童保育クラブの支援員間で行った。また、実際の児童の様子を知る機会として、なんなる学童保育クラブの支援員が、そよかぜ学童保育クラブに来所し保育に4日間参加した。12月（児童のみ）と2月（児童と保護者）に集団ゲームなどをして交流会を行った。

保護者会間での引継ぎでは、なんなる学童保育クラブ保護者会と懇談会を開催した。また、保護者会物品の整理を行った際に、各保護者会や学童保育クラブに譲渡の呼びかけの協力をした。

10. その他

1) 労働安全衛生の推進

施設責任者で受講していない者は「安全衛生推進者」の資格取得のための講習を受講した。

2) 震災で被災した学童保育への支援金の取組み

法人として、全国学童保育連絡協議会が実施している「東日本大震災学童保育募金」および「自然災害学童保育支援募金」に引き続き協力を行う。広報紙くれよん177号にて、取組みについての報告と支援の呼びかけを行い、集まった支援金を送金した。クラブ単位での取り組みが全クラブで実施できなかったため、次年度は共催行事等の際に、支援の呼びかけを行う。

3) 事業拡大と法人基盤の強化

(1) 地域の子育て支援を開始するための新事業の調査研究、具体化、提案は未着手であった。

(2) 新年度前には、会員となったことがある方や関係者等に、会費の払込書とともに依頼文を送り、引き続き会員となっていた。しかし、会員数は減少している。

(2024年4月1日～2025年3月31日)

(3) 法改正に伴い、必要な就業規則の改正を行った。また、社会情勢や現状に合わせ、都度、内規等の新規制定や諸規程の改正を行った。

区分		2023年度	2024年度
正会員	団体会員	12	12
	個人会員	57	56
賛助会員	個人会員	19	19
計		88	87

4) その他

事務局にて法人会員の会費、一部紛失してしまった。クラブからの集金については、すべて現金での受け渡しは行わず振込みとすることとした。また、事務局に現金での入金があった際には集金記録簿を記載することとした。

Ⅱ．学童保育事業

1．事業展開

「倫理綱領」「倫理綱領に基づく行動指針」「保育実践のガイドライン」「学童保育所保育指針」等、保育理念に関する法人諸規程に基づき、保育事業を行った。（各クラブ事業報告書：別紙参照）

2023年度の「公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果（モニタリング）」において、情報公開・個人情報保護の項目について、メールの誤送信、業務日誌の一時紛失、アレルギー物質を含むおやつを誤って提供した、児童の安全性が損なわれた案件があったため指摘された。

11月に町田市の会計・経理・労働条件モニタリングが行われた。事務局が説明し、帳票類を提出したところ、問題点等の指摘事項は特になかった。

2．組織運営

1) 職員会

(1) 施設責任者会議

毎月開催し、職員研修、施設・組織運営に関する諸課題について検討を行った。また、必要に応じて臨時責任者会議を開催した。

月	内 容
4月	おやつの配膳・対応、入退室管理システム、町田市事業報告書、夏休みの昼食注文、1学期 正規全体会議議題確認、6月 保護者会懇談会
5月	6月 保護者会懇談会にむけて、ロケットキッズ
6月	親善ソフトボール、7月運営委員会議題整理、高学年会議
7月	運営委員会報告、高学年会議、実技研修、9月 保護者会懇談会議議題
9月	子どもアンケート、高学年会議、11月 保護者会懇談会議議題
10月	2学期 正規全体会議議題整理、利用者アンケート回収率、業務継続計画
11月	第6期中期計画、利用者アンケート回答、事業計画・報告書
12月	責任者交換研修、第6期中期計画
1月	自己チェックシートまとめ、3学期正規全体会、第6期中期計画、合同行事
2月	入会説明会、年間保育計画の確認、クラブだより配信、次年度研修計画
3月	新たな学校づくりについて

(2) ブロック会議

毎月ブロック会議を開催し、施設運営（事故対応、苦情解決、施設の管理等）に関する情報共有および業務改善への指導を行った。情報を共有することで、常勤職員の職員教育および業務標準化を図った。

3. 関係団体・機関との連携

1) 行政との連携

- (1) 地域子育て支援ネットワーク連絡会に参加し、児童虐待防止および地域の子育て支援に関する連携を図った。
- (2) すみれ教室等、地域の子育て支援に関する諸機関との連携を図った。
- (3) 町田市教育センターが主催する「特別支援学校連絡協議会」に参加し特別な支援が必要な児童の保育・療育等に関する連携を図った。
- (4) 「放課後子ども教室（まちとも）」を運営する運営協議会との協力・連携を図った。あそび方のルール、ケガやトラブルなどの情報を共有した。また、地震や不審者の避難訓練を合同で行った。

2) 町田市への報告

(1) FAX 誤送信について

児童の個人情報を含む書類を法人事務局に FAX をしたが、送信先のアドレス選択の際に事務局と事務局の上に登録してあった業者のアドレスも選択し、気付かず送信してしまった。個人情報を含む書類を事務局に提出する際はデータ化し、事務局と該当クラブのみがアクセス可能な法人クラウド内フォルダに提出することとした。

(2) 児童の置き去り

本室から児童1名を分室に引率したが、職員間の引継ぎができておらず、児童が本室へ一人で戻ろうとしたが、入室できないまま玄関先に30分ほど放置してしまった。本室・分室間を児童が移動する際は、引率担当職員を常時配置する。また、引継ぎ時には、名簿を共有し確実にチェックを行う。分室の出入り口の扉にアラームセキュリティを設置した。

(3) おやつ提供について

- ①賞味期限切れのヨーグルトを4名の児童に提供してしまった。賞味期限切れ確認アプリを導入し、棚卸の際に活用する。
- ②町田市として提供しないことになっているバナナの成分が入ったピューレを含むゼリーをおやつに提供してしまった。生協のアレルゲン登録を町田市で提供しないとしている9品目に限定した。

(4) 通所支援お迎え

担当職員がバス停まで迎えに行くことを失念してしまった。利用日は申し送りの際に必ず職員間で担当者・迎え時間の確認を行い共有する。専用タイマーを設定した。

4. 保育の質の向上

1) 児童の安全対策

事故とけがに関するヒヤリハットの振り返りと分析を各クラブで学期ごとに行った。支援員の事故防止対策に対する知識の習得と児童への安全指導が適切に行えるように、ブロック会議等で分析結果の共有と事故防止対策の報告を行った。また、昨年度の長期休み中に起こった事故やケガの対策についても共有を行い、必要に応じマネージャーが指導、助言した。

2) 保育実践の報告会

正規職員全体会の際にグループに分かれ、夏休みの保育実践からディスカッションする時間を設け保育実践の交流を行った。また、ブロック会議では各クラブの行事・取り組みなどの情報交換や実践を振り返り、クラブで取り入れられるものは実践に活かした。

3) 保育に関する自己点検

月に一度の支援員会議の場で、保育の振り返りシートを活用し自己の保育の振り返りや見直し（点検）を行うことで、職員の保育の質の向上を図った。

5. 安全計画

1) 児童への健康指導・安全指導

(1) 手洗い・うがい

正しく手洗いができているか年に2回以上、手洗いチェッカーを使用し指導した。また、感染症対策として手洗い・手指の消毒、食事中のマナーの指導をした。

(2) 交通安全指導

学区域の通学路マップ等を使い、年に3回（4, 7, 2月）指導を行った。

(3) KYT（危険予知トレーニング）

年度当初に支援員会議の場で施設内外の危険箇所、遊具の使い方や遊び方に関する指導を行った。

2) 食物アレルギー・熱性けいれん・てんかんの対応

(1) 食物アレルギー

町田市のアレルギー対応マニュアルを、職員全体で確認した。食物アレルギー対応マニュアルおよびチェックリストをもとに、日常の食品管理は、曜日ごとの子袋に分け専用のケースで行い、おやつ提供時の事故防止対策を徹底した。食物アレルギーをもつ児童の家庭と年度ごとに面談を行い、個別対応プランを立てプランに基づきおやつ等の提供を行うことを徹底した。

(2) 熱性けいれん・てんかん

熱性けいれん・てんかんをもつ児童の家庭と毎年ごとに面談を行い、発作が起きた際にはチェックシートと座薬の挿入に関する意見書、同意書兼依頼書をもとに対応することを徹底した。対象となる児童の在籍の有無にかかわらず、年度当初にアレルギー、熱性けいれん・てんかんの対応について支援員教育を行った。

3) 防災・不審者対応

(1) 火災事故防止

全クラブに防火管理者を配置し、消防計画をもとに適切な訓練等を行った。また、火災防止のため、チェックリストを基に毎日、点検を行った。法定の消防設備保守点検が義務付けられている施設は、年2回点検を受けた。

(2) 児童・職員の訓練

町田市の防災マニュアルに基づき、自然災害時や不審者対応等の訓練を毎月行った。また、職員教育として警察署、消防署職員による訓練をそれぞれ年1回、実施した。町田市の土砂災害・洪水ハザードマップで危険箇所となっているクラブ（大蔵・のびっ子・金井・あおぞら・南大谷・わんぱく）は、訓練を実施した。「放課後子ども教室（まちとも）」を運営する運営協議会と合同の避難訓練（地震・不審者など）を企画提案し実施した。

4) 衛生管理

(1) 衛生管理

衛生管理チェックシートに基づき、施設・設備の維持管理を日・月単位で行った。

(2) 食品の管理

食品の賞味期限の管理は、マニュアルに基づき、複数の支援員で確認して提供をした。食品の在庫管理は、複数の支援員で定期的に行うことを徹底した。9月に食品の管理について、マニュアル通りの手順の確認を全支援員で行った。また、11月より、賞味期限と在庫の管理として、在庫管理アプリの活用を始めた。

5) 安全計画、各種マニュアルの改訂

安全計画は次年度に向け、3月に各クラブで見直しを行った。また、衛生管理マニュアルの見直しを行い、清掃内容や方法について現状に合わせた内容に改訂した。

6) 事故件数 (医療機関にかかった場合)

2023年度と比べ児童のケガの件数は減少した。事故分析を行い対策することや、児童へもケガ対策の周知や指導を行っていったことで、昨年度、事故の多かった学童保育クラブの事故件数が減少した。ケガの傾向としては、登降所の際に転んでケガをする事故が多く、ケガの部位としてはあそびの中で指を痛めてしまうケガが多かった。引き続き、通院を伴わないケガも含めた事故の分析を行い、支援員会議で対策を検討していく。

	児 童				職 員		児童のケガ	
	傷 害		施 設 賠 償				保育中	登下校中
	2023年度	2024年度	2023年度	2024年度	2023年度	2024年度		
大蔵	1	5	0	0	0	1	5	0
大戸のびっ子	1	1	1	0	1	0	1	0
金井	6	0	0	0	0	0	0	0
高ヶ坂けやき	4	1	1	0	1	1	1	0
図師	7	5	0	0	2	0	5	0
そよかぜ	4	1	0	0	1	1	1	0
つくし野	3	5	0	1	0	0	5	0
鶴川	10	3	0	0	1	0	3	0
どろん子	10	8	0	0	2	2	7	1
なかよし	7	11	0	1	0	2	11	0
成瀬中央あおぞら	6	6	1	1	0	0	5	1
南大谷	2	6	0	0	1	1	5	1
わんぱく	2	8	0	1	0	0	5	3
事務局	0	0	0	0	2	0	0	0
計	63	60	3	4	9	8	54	6

6. 業務継続計画の策定

他自治体の学童保育クラブ事業の業務継続計画を参考に、計画を策定した。合わせて、風水害・土砂災害等対応マニュアルに記載のある避難場所の見直しを行った。避難場所については、児童青少年課へ変更の相談を行った。また、依頼を受け、業務継続計画を提出した。

7. 地域との交流

1) 交流・合同行事

各クラブ間の相互交流のため、法人内 13 学童保育クラブ合同行事を開催した。高学年の児童を中心に企画・運営を行い、準備として2回、高学年会議をオンラインで行った。当日は、高学年児童が司会進行を行い、全クラブをオンラインで

繋ぎ、クラブの紹介をしたあと、北地区（大蔵、大戸のびっ子、金井、図師、鶴川、なかよし）、南地区（高ヶ坂けやき、そよかぜ、つくし野、どろん子、成瀬中央あおぞら、南大谷、わんぱく）に分かれ、全児童参加のゲームを行い、交流を図った。

2) 地域との交流を目的とした行事の実施

- (1) 地域の自治会等と、地域での子どもの安全と健やかな成長を願う団体と、行事を通して交流を図った。
- (2) 学童保育に在籍する子どもと地域の子どもの交流を目的とした、地域開放行事を金井学童保育クラブ（木工工作教室）、南大谷学童保育クラブ（映画会）どろん子学童保育クラブ（保護者会共催クラブ祭り）開催した。次年度は全クラブで開催できるよう準備を進める。

8. 保護者支援

1) 個別の家庭支援

(1) 個人面談

子どもの成長を伝える機会として、年1回以上、全家庭を対象に実施した。支援員と保護者の信頼関係づくりに重点をおいて、個別支援を行った。実施にあたっては、保護者の参加がしやすいよう、開催方法（対面・オンライン）を選べるようにした。

(2) 懇談会

保護者同士が悩みや相談ができるよう、学年別やグループ別などに分けて保護者からテーマを募るなど身近なことについて気軽に相談しあえるよう支援した。児童の作った作品の展示や遊具の紹介と体験をするなど、保護者が興味を持ち、より児童の様子が伝わりやすい内容にする等の工夫をした。

(3) その他

連絡帳やクラブ通信を活用し、日々の子どもの様子を伝えた。連絡帳の記載は、保育時間中のため、記載が確実にできないこと等を保護者に説明し理解を求め、クラブ通信等で伝えることを意識した。また、児童の入退室管理システムの活用を図り、欠席や降所方法の連絡がスムーズにできるようになった。次年度は、クラブ通信やお知らせをメール配信で行う。

2) 保育参加

保育参加はほぼ全クラブで実施することができた。大戸のびっ子クラブは、遠足に保護者参加があった。次年度も、保護者が保育を体験しながら、日頃の子どもの様子を知る機会として実施する。

2024年度「保育参加」のべ人数

大蔵	6	そよかぜ	5	成瀬中央あおぞら	4
大戸のびっ子	0	つくし野	9	南大谷	12
金井	2	鶴川	30	わんぱく	12
高ヶ坂けやき	12	どろん子	7	計	110
図師	4	なかよし	7		

3) 保護者会支援

子育てを通じて保護者同士がつながり協力し合える関係になるよう、保護者が活動に参加する機会を保護者会役員と相談しながら設けた。保護者会活動を通じて「我が子の成長が感じられる」「我が子の友達と触れ合うことができる」を軸に、保護者会活動が円滑に進むよう協力した。また、子どもたちを真ん中に保護者と支援員が手を取り合い、学童保育クラブの充実のための協働をすすめていった。

4) 卒会・退会した児童と家庭へ子育て支援

- (1) 学童保育クラブで実施される地域開放の行事等において、卒会・退会した児童との交流を図った。
- (2) 卒会・退会した児童の保護者から寄せられる、子育てに関する相談を必要に応じて受けられる体制を検討した。
- (3) 学童保育クラブを卒会・退会した中学生を対象にボランティアを受け入れる体制を整備した。

9. その他

1) 利用者アンケート

9月クラブ保護者に対し満足度調査を行い1月にアンケート結果および改善策について保護者へ報告した。調査方法は保護者の利便性向上のためWebを中心とした形式で実施した。アンケートの案内の配布とともにメール配信を行い、本文からアンケートに回答できるようにしたことで、今年度13クラブの回収率平均が、昨年度の88.2%から94.2%に増えた。

アンケートの回答について、全体的に評価が高いのは、「学童クラブに楽しく通えているか」「発熱やケガなどの対応」「遊具（おもちゃ）や図書」等であった。

クラブにより若干の差があるものの、評価が低かった項目は「学校と学童クラブとの情報共有」「保護者同士の交流」等があった。学校と学童クラブとの情報共有については、どのように情報共有をしているのかを各学童クラブの懇談会やクラブ通信などで伝えていく。保護者同士の交流については、昨年度88.9%から89.6%と若干ではあるが満足度が上がっている。引き続き、保護者会と連携し保護者同士の交流の在り方を考えていく。

総合的満足度は、13クラブの平均で94.0%と比較的満足が得られている。いただいたご意見をもとに、更なる満足度の向上に努める。

全世帯	回答数	全クラブ平均
1164	1097	94.20%
	前年度	88.20%

2) 放課後児童クラブ自己チェックリストの活用

各学童保育クラブにて年一回、学童保育クラブ事業内容について「放課後児童クラブ自己チェックリスト」を用いて振り返った。その後、全クラブで法人としての検討を行い、事業計画に反映する等の事業内容向上に向けた取り組みに努めた。

3) 業務改善

- (1) 教材等をデータ化し、クラウドにて情報共有を行うことはできなかった。次年度、ブロック会議等の支援員の会議で共有したい教材を募る。
- (2) ペーパーレス化
給与明細の電子交付者を増やすため、職員に閲覧手順のマニュアルを配布し協力を呼びかけたところ、紙での交付者が減少した。次年度も引き続き協力を呼びかける。請求書、領収書の電子保存については未着手だったため、次年度の課題とする。
- (3) 各種書類のフォームの見直し
在籍人数報告書（WordからExcelに変更）、月の報告書のフォームを変更し、効率化につながった。
- (4) ハンコレス（脱ハンコ）の実行
常勤職員については電子印鑑を配布し、押印が必要な書類については全てデータでの提出とした。非常勤職員については、紙媒体の書類をスキャンし、データでの提出とした。クラブ職員の事務局への書類提出業

務は軽減されたが、紙媒体で保管している書類が多いため、提出されたデータを印刷する事務局の業務負担が増えてしまった。今後は紙媒体で保管している書類を順次、データでの保管へ移行することを検討する。

4) 定期点検

年に3回、事務局による各クラブの定期点検を行なった。点検項目として、個人情報の適正な管理、衛生管理、文書管理方法、整理整頓、火災事故防止に関する指導を行った。また、おやつ代の監査を年間通して行った。

5) ボランティア・町田市立中学生職場体験等の受け入れ

保育内容が充実したものとなるよう、また、地域に開かれた施設としてボランティアの受け入れを行った。全クラブで、町田市ボランティアセンター「夏ボラ」の登録を行った。また、中学生の職場体験の受け入れの他に、東京都より都立高校職場体験の受け入れ先の依頼があり、大戸のびっ子学童保育クラブで初めて、受け入れを行った。

【ボランティア受け入れ】

	活動内容	時期	所属	人数
大蔵	バレーボール体験	8月	鶴川ウィングス	15人
	お話し会	2月、3月	個人（地域協力者）	10人
大戸のびっ子	保育補助	通年	法政大学（学生）	7人
金井	お話し会（戦争体験）	8月	語り部 たけのこ	2人
	保育補助	10, 11, 12月	玉川大学（学生）	3人
高ヶ坂 けやき	パステル教室	7. 8月	個人	1人
	お話し会（戦争体験）	8月	語り部 たけのこ	2人
図師	保育補助	7月	個人	1人
そよかぜ	お話し会	年8回	虹の会	各月2人
	お話し会	3月	虹の会	2人
	お話し会（戦争体験）	8月	語り部 たけのこ	2人
	技見せパフォーマンス披露	1月8日	個人	1人
つくし野	お話し会（戦争体験）	8月	語り部 たけのこ	2人
鶴川	音楽会	3月	個人（学生）	2人
どろん子	保育補助	8月	個人（大学生）	3人
	お話し会（戦争体験）	8月	語り部 たけのこ	1人
	保育補助	7. 8月	個人	1人
なかよし	お話し会	年4回	たつのこ会	3人
成瀬中央 あおぞら	保育補助	通年	個人（地域協力者）	1人
	お話し会	年7回	虹の会	各月2人
	保育補助	8月	個人（高校生）	1人
	お話し会（戦争体験）	8月	語り部 たけのこ	1人
	パステル教室	7, 8, 12月	個人	1人
わんぱく	お話し会（戦争体験）	8月	語り部 たけのこ	1人
	お話し会（認知症）	3月	Dフレンズ町田	2人

【職場体験】

	学校	時期	人数
大蔵	鶴川中学校	9月18日～20日	3人
	金井中学校	1月22日～24日	2人
大戸のびっ子	堺中学校	9月20日～22日	3人
	忠生中学校	11月29日～22日	5人
	都立高校職場体験	7月23・24日	5人
	都立高校職場体験	8月7・8日	5人
	都立高校職場体験	8月20日・21日	5人
高ヶ坂けやき	南中学校	1月22日～24日	2人
図師	忠生中学校	1月22日～24日	1人
そよかぜ	つくし野中学校	11月20日～22日	2人
	南成瀬中学校	1月22日～24日	各3人ずつ
つくし野	つくし野中学校	11月20日～22日	2人
	南中学校	1月22日～24日	2人
鶴川	鶴川中学校	9月18日～20日	4人
	鶴川第二中学校	1月22日～24日	4人
どろん子	南中学校	1月22日～24日	3人
なかよし	忠生中学校	1月22日～24日	1人
成瀬中央あおぞら	成瀬台中学校	1月22日～24日	3人
南大谷	町田第一中学校	9月20日～22日	2人
	成瀬台中学校	1月16日～18日	2人
わんぱく	南成瀬中学校	1月22日～24日	2人

Ⅲ. 児童数と職員体制

1. 児童数および職員配置

(2024年4月1日～2025年3月31日)

クラブ名	支援の 単位数	職 員			児 童 数			
		正規	常勤 (非正規常勤)	非常勤 (配置基準)	4月1日	増	減	3月31日
大蔵	4	4	1	3	175	13	46	142
大戸のびっ子	1	2	1	0	22	5	10	17
金井	3	3	1	2	106	27	39	94
高ヶ坂けやき	2	3	0	1	69	15	23	61
図師	3	3	2	1	103	12	32	83
そよかぜ	3	3	1	2	93	11	16	88
つくし野	3	4	1	1	103	15	20	98
鶴川	3	3	2	1	94	16	31	79
どろん子	5	4	2	2	169	16	31	156
なかよし	3	4	1	1	101	12	22	91
成瀬中央あおぞら	2	3	0	1	82	18	7	71
南大谷	4	5	0	3	160	12	30	142
わんぱく	2	3	0	1	83	10	30	63
事務局		4	0	0				
計	38	48	12	19	1360	182	337	1185

年間利用数（1日時点）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
大蔵	175	174	174	173	173	157	152	150	152	150	146	143
大戸のびっ子	22	22	24	24	27	23	20	19	19	18	18	17
金井	106	106	107	108	124	103	99	99	97	96	94	94
高ヶ坂けやき	69	69	67	66	77	65	64	64	63	62	60	60
図師	103	100	99	99	102	95	94	93	91	91	87	83
そよかぜ	93	92	92	91	97	92	92	91	90	90	88	88
つくし野	103	103	102	102	107	100	102	100	99	99	98	98
鶴川	94	93	89	91	98	87	84	85	84	82	81	78
どろん子	169	167	166	168	173	170	168	167	162	159	157	156
なかよし	101	102	102	104	103	97	94	94	94	93	94	91
成瀬中央あおぞら	82	79	79	79	80	76	73	72	73	70	70	70
南大谷	160	156	155	155	163	152	147	145	144	143	142	142
わんぱく	83	81	80	79	85	74	73	72	67	65	64	63

2. 人事

1) 採用

<採用>

入職日	雇用形態	所属クラブ	備考
4月1日	正規職員	どろん子	
	正規職員	南大谷	
	非正規常勤職員	大蔵	派遣会社より
	非正規常勤職員	金井	派遣会社より
	非正規常勤職員	そよかぜ	派遣会社より
	非正規常勤職員	鶴川	派遣会社より
	非常勤職員	図師	再入職
	非常勤職員	鶴川	シルバー人材より
	非常勤職員	どろん子	シルバー人材より
	非常勤職員	なかよし	シルバー人材より
	非常勤職員	図師	シルバー人材より
	非常勤職員	どろん子	
	非常勤職員	南大谷	
4月2日	非常勤職員	高ヶ坂けやき	
5月1日	非常勤職員	どろん子	再入職
5月13日	非常勤職員	どろん子	
5月28日	非常勤職員	どろん子	
5月29日	非常勤職員	大蔵	再入職
8月1日	正規職員	高ヶ坂けやき	
10月1日	正規職員	大蔵	11月11日退職
11月1日	正規職員	つくし野	
11月1日	非正規常勤職員	どろん子	
6月29日	非常勤職員	金井	再入職
7月9日	非常勤職員	どろん子	
7月11日	非常勤職員	なかよし	
7月18日	非常勤職員	大戸のびっ子	
7月20日	非常勤職員	高ヶ坂けやき	
7月22日	非常勤職員	南大谷	
7月23日	非常勤職員	南大谷	
7月24日	非常勤職員	金井	
7月25日	非常勤職員	大蔵	
7月29日	非常勤職員	金井	
	非常勤職員	つくし野	

入職日	雇用形態	所属クラブ	備考
7月30日	非常勤職員	鶴川	
7月31日	非常勤職員	つくし野	
8月1日	非常勤職員	大戸のびっ子	
	非常勤職員	鶴川	
	非常勤職員	なかよし	
	非常勤職員	成瀬中央あおぞら	25年度正規職員
	非常勤職員	南大谷	
8月2日	非常勤職員	つくし野	
	非常勤職員	どろん子	
8月5日	非常勤職員	どろん子	
	非常勤職員	南大谷	
8月7日	非常勤職員	どろん子	
	非常勤職員	なかよし	
8月9日	非常勤職員	どろん子	
	非常勤職員	金井	11月30日退職
8月13日	非常勤職員	大蔵	2025年正規採用
8月15日	非常勤職員	つくし野	
8月16日	非常勤職員	南大谷	
9月2日	非常勤職員	なかよし	
10月4日	非常勤職員	どろん子	
10月23日	非常勤職員	高ヶ坂けやき	
10月24日	非常勤職員	鶴川	
10月25日	非常勤職員	つくし野	
11月5日	非常勤職員	図師	
11月11日	非常勤職員	高ヶ坂けやき	
11月19日	非常勤職員	金井	
11月20日	非常勤職員	南大谷	再入職
12月24日	非常勤職員	なかよし	
1月6日	非常勤職員	金井	再入職 2月28日退職
1月7日	非常勤職員	大蔵	再入職 3月7日退職
2月4日	非常勤職員	事務局	2月28日退職
3月1日	非常勤職員	南大谷	
	非正規常勤職員	どろん子	3月13日退職
3月19日	非常勤職員	事務局	2025年正規採用

<退職>

退職日	雇用形態	所属クラブ	備考
4月18日	非正規常勤職員	どろん子	派遣 契約満了
4月30日	非正規常勤職員	金井	派遣 契約満了
	非常勤職員	金井	学生
5月17日	非正規常勤職員	つくし野	
9月20日	正規職員	どろん子	
9月30日	正規職員	大戸のびっ子	
7月31日	非正規常勤職員	大蔵	
7月27日	非常勤職員	図師	
9月30日	非常勤職員	大蔵	学生
10月31日	非常勤職員	南大谷	学生
11月30日	非常勤職員	つくし野	
12月17日	非常勤職員	南大谷	学生
12月28日	非常勤職員	大戸のびっ子	
12月31日	非常勤職員	どろん子	学生
	非常勤職員	どろん子	学生
1月31日	非常勤職員	南大谷	学生
2月5日	正規職員	大蔵	
2月24日	非正規常勤職員	大戸のびっ子	
2月28日	非常勤職員	わんぱく	学生
	非常勤職員	なかよし	
	非常勤職員	どろん子	学生
3月15日	非常勤職員	高ヶ坂けやき	学生
3月29日	非常勤職員	なかよし	学生
3月31日	正規職員	南大谷	

入職日	雇用形態	所属クラブ	備考
3月31日	非常勤職員	大蔵	学生
	非常勤職員	大蔵	学生
	非常勤職員	高ヶ坂けやき	
	非常勤職員	高ヶ坂けやき	学生
	非常勤職員	図師	学生
	非常勤職員	図師	
	非常勤職員	そよかぜ	学生
	非常勤職員	そよかぜ	
	非常勤職員	そよかぜ	
	非常勤職員	つくし野	学生
	非常勤職員	つくし野	
	非常勤職員	鶴川	
	非常勤職員	どろん子	学生
	非常勤職員	どろん子	学生
	非常勤職員	どろん子	学生
	非常勤職員	どろん子	学生
	非常勤職員	なかよし	学生
	非常勤職員	なかよし	学生
	非常勤職員	なかよし	
	非常勤職員	成瀬中央あおぞら	学生
	非常勤職員	成瀬中央あおぞら	学生
	非常勤職員	南大谷	

<異動（配置）>

異動日	雇用形態	所属クラブ	備考
4月1日	正規職員	大蔵	成瀬中央あおぞらより
	正規職員	大戸のびっ子	図師より
	正規職員	図師 施設責任者	つくし野より
	正規職員	鶴川	南大谷より
	正規職員	どろん子 マネージャー	図師より
	正規職員	どろん子	大戸のびっ子より
	正規職員	わんぱく	大蔵より
	非正規常勤職員	どろん子	なかよしより
7月1日	正規職員	大蔵	高ヶ坂けやきより
	正規職員	金井	大蔵より
	正規職員	南大谷	大蔵より
9月1日	非常勤職員	鶴川	どろん子より
10月1日	正規職員	大戸のびっ子	図師より
	正規職員	図師	どろん子より

<異動（役職者）>

異動日	雇用形態	所属クラブ	備考
4月1日	正規職員	金井	主任 昇格
	正規職員	つくし野	鶴川より 施設責任者 昇格
	正規職員	成瀬中央あおぞら	そよかぜより 主任 昇格
	正規職員	なかよし	施設責任者 昇格
	正規職員	南大谷	つくし野より 主任 昇格
	正規職員	南大谷	マネージャー 昇格
7月31日	正規職員	なかよし	施設責任者 交代
8月1日	正規職員	なかよし	マネージャー兼施設責任者
1月1日	正規職員	金井	施設責任者 昇格

<異動（その他）>

異動日	雇用形態	所属クラブ	備考
4月1日	正規職員	南大谷	非正規常勤職員より
	正規職員	わんぱく	非常勤職員より
	正規職員	大蔵	非常勤職員より
	正規職員	高ヶ坂けやき	非常勤職員より
	正規職員	鶴川	非常勤職員より